

個性あるむらづくり、 足腰の強い農業をめざして。



村づくりの輪は子供たちからも

上益城地区
の
実践例

▲益城町婦人グループの
郷土食づくり

▼「企業と人生」と題しての講演。
農業にも経営感覚が大切だ。



▼「農家に嫁いで」。若い主婦の素直な感想
が出席者の共感を呼ぶ。



▶菊池市4Hクラブ(青年農業者)
の共同作業(甘しょの植えつけ)



菊池地区
の
実践例

▲生活改善グループ「白ゆり会」
の月例、衣・食・住勉強会

▲横町野菜クラブの共同種まき
(キャベツ・レタス・ブロッコリー)

このセミナーは、県内十一か所の農業改良普及所がそれぞれ中心となつて、地域の農業協同組合や市町村の強力なバックアップのもとに、農閑期(二月〜三月)の農家を対象に実施しているものです。二年目を迎えた今年も、各地で次々と開催されてきました。

共通の基本テーマは、人づくり、むらづくり、特産品づくりです。

人づくりでは、小中学校に設けられた農園で児童生徒にほどこす農業体験学習。青年農業者たちが行う新しい作物の研究開発や生産の省力化のための話し合いなどがあげられます。

むらづくりでは、住民が自主的に道路などの危険か所の点検、整備を進めたり、裏作(スイカ・メロンなど)を容易にするため、利害関係者が地域全体で話し合いを行い、排水の改善や土地改良に成果をあげていることが報告されています。

また、特産品づくりでは、一・五次産業が注目を浴びるなか、消費



▲200人近い参加者も熱心に聞かいる。



▲事例発表者を中心としたパネルディスカッション

▶蘇陽町に導入後4年目を迎えたブルーベリー。5年後には20ヘクタールを目指す。



阿蘇地区
の
実践例

▶全国茶品評会へ出品する茶を摘む日本一づくりに意欲を燃やす。

▶阿蘇地方青年農業者組織リーダー交換研修会

▶小国町4Hクラブも参加した、特産品の大会品評会



熊飽地区
の
実践例

▶無病苗カーネーションの栽培一般の人の関心も高い。

▶極早生みかんの現地検討会

▶土壌調査活動
地味だが重要な仕事だ。

▶学童農園での田植え体験

2月18日、上益城地方で開催された農業開発セミナー
(於 県上益城事務所)